

平成 31 年度 安茂里幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

「えがお わくわく あもりっ子 つよく かしこく やさしい子」

2. 本年度の重点目標

- 【芝生での屋外活動】 ・青空の下、緑の第2園庭で、遊び、運動し、歌います。
- 【畑での栽培収穫活動】 ・野菜を育て、採れたてのおいしい野菜をほおぼります。
- 【異年齢での交流活動】 ・小規模園ならではの、縦割りの楽しい活動を行います。
- 【小学校につなぐ活動】 ・小学校の見学、交流活動に力を入れ、入学に備えます。

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項 目	自 己 評 価 内 容	評 価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	A
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	B
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	B
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

4. 学校関係者評価委員（モニター）からの評価

- ・園の自己評価は、園のいい面ばかり見せるのでなくて、先生方が問題点として感じている点も明らかにしているので、幼稚園のそういう姿勢は大いに評価したい。
- ・先生方の要望を吸い上げて、ぜひ今後の園運営に活かしていただきたい。
- ・園児があいさつをしてくれ、人懐こく話しかけてきてくれた。いい子たちが育っていると感じた。
- ・小学校に入ってみると、安茂里幼稚園であたりまえだったことが、他園ではあたりまえになっていない現実直面してびっくりする。安茂里幼稚園の3年間が土台になって、人間としてのベースがしっかりできた。ありがたいと感じている。安茂里幼稚園を卒業したことを、親子共々誇りにしたいと思っている。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・全教職員が知恵を出し合って教育目標の見直しを行い、新教育目標の下で2年目の実践が終わる。来年度は、園目標改訂時の職員の熱気を忘れずに、安茂里幼稚園の魅力を更に高めるために、「特色ある園づくり」「笑顔あふれる園作り」を推進する。
- ・保護者アンケートでは園の諸活動に高い評価をいただき、また園公開等では新規の参加者もありながら、新入園児の獲得の実績にはつながりにくかった。PR活動には更に工夫が必要である。
- ・日々の保育活動の中に「主体的な学び」の場面を確実に保障し、保育活動の改善に向けて園内の研修を更に活発化することで保育研究の深化を図り、安茂里幼稚園の保育、教育の質の向上を目指す。